

トヨタ自動車東日本 株式会社

立地企業レポート ①



黒川郡大和町・大衡村
第一・第二仙台北部
中核工業団地



東北から世界へ 魅力ある“コンパクトカー”をもっと早くお客様へ

トヨタ自動車東日本は、関東自動車工業・セントラル自動車・トヨタ自動車東北の3社が統合し、2012年7月にコンパクト車の専門集団として誕生いたしました。

宮城県には、第二仙台北部中核工業団地に、シエンタ等を生産している本社・宮城大衡工場があります。また、第一仙台北部中核工業団地には、小型HEV用エンジンやユニット部品の生産をしている宮城大和工場があります。

また、2013年4月には、企業内訓練校であるトヨタ東日本学園を開校し、当社社員だけではなく東北各県の地元企業の方々も受け入れ、生産現場の中核となる人材の育成を行っています。

宮城県は、電気・ガス・工業用水などのインフラが充実している大規模な工業団地があり、高速道路・港湾・鉄道といった物流環境にも恵まれています。

また、それら工業団地は東北の中核都市である仙台市が近く、豊かな自然にも恵まれ、食べ物も美味しく、従業員や家族にも快適な生活環境が揃っています。

宮城県をはじめ、大衡村や大和町及び周辺地域の皆様には、多くのご支援をいただいております、大変感謝しております。

「東北を元気に」という想いのもと、地域の皆様と一緒にものづくりの輪を広げていきたいと考えております。

今後とも、よろしくお願いいたします。



▲シエンタ



トヨタバッテリー 株式会社

立地企業レポート ②



黒川郡大和町
大和流通・
工業団地



技術力を活かし、地元に根差したグローバル企業を目指して

当社は1996年の創業以来、トヨタのグループ企業として、累計2,500万台分以上の車載用バッテリーを生産しております。昨年10月には、プライムアースEVエナジー(株)からトヨタバッテリー(株)へ社名が変更となりました。

ハイブリッド車の需要拡大に対応するために、静岡県湖西市の本社・大森工場、境宿工場に続く第3の拠点として、宮城県黒川郡の大和町流通・工業団地に宮城工場を建設、2010年に操業を開始しました。2023年には宮城工場7棟全ての工場が稼働し、年間の生産能力はHEV148万台と、全社で最も大きな生産拠点となっています。今後、カーボンニュートラルの実現に向けて多様な電動車を普及させていくため、静岡県湖西市に新居工場を、そして今後は九州の福岡県にも新しい工場を建設予定です。

現在宮城工場では、「シエンタ」や「ヤリス」などに搭載されているニッケル水素バッテリーやリチウムイオンバッテリーの生産を行って

おり、高い性能と品質を兼ね備えた製品を提供しております。

宮城県は政令指定都市である仙台市を中心に、高速道路・港湾・鉄道・空港などの交通網が整備されております。また、大自然にも恵まれ、従業員やご家族にとっても素晴らしい住環境が整っていることが大きな魅力です。加えて、東北を拠点とするトヨタのグループ企業と密に連携が図れることも、弊社にとっては大きな利点です。

宮城県や大和町、地域の皆様には、日頃より様々な面でご支援いただき、大変ありがたく感じております。

今後ともこの地から、皆さまで共に、地域の発展に貢献していけるよう挑戦をしてみたいです。



▲電池パック